

広報モニターアンケート【8月号】

○今月号の内容について

ページ	コーナー名	調査項目	評価 (5段階)	ご意見
3~7	特集 来て、見て、知ろう！ 二上山博物館 開館20周年	テーマ・内容	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の所蔵品紹介が続くこの内容は、市民にとっての博物館20周年を考える特集にはなり得ていない。見出しと内容のミスマッチ、パンフレットか解説文を見るような硬さ。記述も専門的すぎて、特集の視点がずれている。 ・見所ポイント”3つの石”は、旧石器時代の見出しが小さいので、6ページとの繋がりが分かりにくい。反対に7ページは見出しが大きすぎて、博物館特集とは別項目の印象。全体がメリハリに欠ける。 ・もっと違った角度・観点から、博物館の知られざる魅力話を紹介してほしい。 ・展示会の企画・作品の搬出搬入・図録作成・運営に至るまでの苦心談やこぼれ話、地域学習での利用状況と反応、市民の関心度の広がりや活動展開、20年間の活動成果など、市民との関わりの中で20周年の意味を考え、その存在の再認識と来場を促すような博物館の魅力がほしい。 ・記事も学習風で単調。関心のない人には読むことも大変だったのではないかな。 ・文章が長いし、ページ数も多かったので読む気がしなかった。 ・二上山博物館へ行ったことがなかったので、内容が分かってよかった。しかし、文字が多く、最後まで読む人はどれだけいるのかなと、感じた。 ・ふたかみ文化センターで歴史にふれることができるので、子どもたちにはぜひ利用してほしい。大々的に特集があれば、気にして足をはこんでくれると思います。また、新しく転居してきたかたにも、香芝を知っていただけるよい記事だと思います。 ・理解しやすく、子どもたちにも分かりやすい内容にまとめられていると感じた。反面、鮮明にかけられる写真が気になった。 ・香芝は、大阪のベッドタウンのイメージがあり、産業の少ない平凡なまちと見られていますが、日本の歴史を語るうえでも重要な所。これを機に、親子で郷土・歴史を語る良い機会になったのではないかな。 ・写真も豊富で分かりやすかった。4ページの「瀬戸内技法」は、もう少し大きく紹介できなかつたか。 ・二上山博物館友の会の案内のアピールをもっとしっかりし、団塊の世代が興味持ってもらえるようにしたらよかった。 ・香芝市には「大和の大王と葛城の豪族」とう郷土史があります。郷土史の存在をアピールし、市民の誇れる郷土史になればいいと思う。
		文章	3.6	
		写真・イラスト	3.7	
		レイアウト	3.6	

8	米粉プロジェクト -米粉商品の 販売店募集！-	テーマ・内容	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町村のように、香芝市も特産品をアピールして盛り上げてほしい。「香芝市の特産品…？何？」とならないようにしてほしい。 ・「米粉プロジェクト」の単語見出しだけでは、ページそのものの意図と主張が不明である。最後まで読んでもやっぱり分からない。販売店募集がメインなら、広報紙1ページで扱う内容ではないし、米粉商品の普及ならもっと違う攻め方が必要である。ここで訴えたいことの基軸があいまいだったのではないか。米粉プロジェクト組織がどこにあって何をめざし、どういう普及活動をしているのかなど、もう少し丁寧な説明が必要。 ・米粉はあまり馴染みがなく、使い方も分からなかったが、使用方法が記載されていたので一度試してみようと思うことができた。 ・パン食に移行する傾向にある日本人の食文化を食い止める意味もあって、米の多様化は必要。時代に即したよいテーマだと思う。 ・いろんなパン屋の米粉商品が写真で見ることができてよかった。しかし”販売店募集”というのは、限られた人が対象となるので、私たちのような市民には関係がないので、掲載するのはどうかと思った。また、なぜ香芝市が、米粉の普及を促進しているのか知りたい。 ・円グラフについて、数値の多い方を前にするべきではないか。 ・お店の地図があってもよかった。店主の声が記載されているのはよい。
		文章	3.4	
		写真・イラスト	3.9	
		レイアウト	3.9	
9	介護予防で ずっと元気！	テーマ・内容	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・記事そのものに、「今、何で別立てページで介護予防なの…」と、唐突感がある。マイヘルス欄ではなぜだめなの？ ・「介護予防」は、一般には新語。介護医療そのものの具体的な一例かと錯覚してしまった。リード文の説明にもっと工夫がほしい。見出しも不適切。見開きページでは、「米粉プロジェクト」に負けて、その記事の一貫かと錯覚した。上三段の囲み記事のレイアウトがよいだけにもったいない。 ・老化防止や病気予防などは聞き慣れているが、介護予防という言葉はあまり聞いたことがない。しかし、高齢化の進む香芝市でも大変重要な問題だと思う。 ・「米粉プロジェクト」のタイトル表示のインパクトが強くて、内容は全く異なるのに続きのように一瞬感じた。マイヘルスマイライフの前後にもってくる方がよかったのではないか。どちらも健康に関するものであるため。 ・予防法がいろいろ書かれていてよかった。お知らせ版と重複するが、健康体操の日程も書いていた方がよかった。 ・年配のかたが読むページになるので、イラストや写真で見やすく作られているのがよかった。 ・分かりやすかった。 ・老人会でイキイキ体操をされているので、それも参考にしてください。
		文章	3.7	
		写真・イラスト	3.9	
		レイアウト	3.9	

10	イキイキ！中学生	テーマ・内容	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・団体競技の集合写真が、もう少し大きいほうがよかった。 ・全国大会出場への過程と、大会はいつどこで、が抜けている。各チームの意気込みの記事もあればよかった。 ・今号では1番のヒット作。取り上げた題材・視点・写真・レイアウト、どれをとってもよい。ただ、リード文に妙味がなく、ありきたり。もう少し気の利いた激励言葉を入れてほしかった。 ・中学生のすてきな笑顔の写真がよかった。しかし、名前と顔が一致しないので、写真の位置を記入してあればよかったのではないか。 ・当事者にとっても、全国大会出場前のこの紹介は大きな励みとなるに違いない。 ・香芝市を代表して、全国大会に出場する中学生の紹介は、本人にとっても市民にとっても大変誇らしいことで、今後も掲載した方がよい。選手のモチベーション向上にもつながる。また、文化サークルのことも、ぜひ紹介してほしい。 ・こういう記事は見る人を元気にさせる。写真はみんな笑顔がすてき。 ・オリンピックが開催されたこともあり、興味を引く内容。今後、いろんな中学生を取り上げるコーナーも楽しい。 ・荒れる年ごろの中で、なかなかやるなと素直に感じた。写真もいい顔！
		文章	3.9	
		写真・イラスト	4.4	
		レイアウト	4.3	
11	1か月のできごと	テーマ・内容	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・4題とも話題としては悪くないが、レイアウトが画一的で、ページ全体に変化と躍動感がない。工夫と研究を望む。言葉の使い方もそれぞれ違うのが気になる。 ・いろいろな年代のかたの写真が掲載されているのがよかった。 ・毎月の記事ではあるが、時事がわかりよいと思う。 ・市内のイベントを詳しく知らせてくれるのはよい。記事を読む確立は、タイトルで決まる。このページのタイトルの付け方はよかったと思う。 ・さまざまなできごとがある中で、うまくまとめられていて読みやすかった。写真のバランスもよかった。
		文章	3.9	
		写真・イラスト	3.7	
		レイアウト	3.9	
12	マイヘルスマイライフ	テーマ・内容	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・検診のお勧め・案内は的確な情報提供。リード文も要所を押さえている。しかし、受診率18%の原因はどこにあるのか、目標50%確保のためには何が必要なのか。呼びかけ・周知だけでは限界がある。検診の場の提供とともに、受診率を高める具体的な方策も同時に提供したい。「周知はした。受診しない人が多い。」では業務自体が受け身姿勢。 ・受診率が低いのはなぜか…そこをもっと考え、“手軽に受診できる”ということアピールすべき。この内容では、それが分かりにくい。 ・受診率50%をめざすのであれば、現在の受診率を示す必要がある。受けない理由・要因が分かればおのずと解決していくのはと思う。例えば、学校教育・ポスターの掲示・地区懇談会などを利用して啓発をする。文章での訴えも大事だが、効果があると思う。 ・若い女性が受診しなければならぬのだから、その世代に読んでもらえるような工夫がほしい。文章がかたい。 ・このページを見て、検診を受けようと思った。 ・以前より見やすくなったように感じる。香芝市の受診率も記載されており、分かりやすく説明されていると感じた。
		文章	3.7	
		写真・イラスト	3.6	
		レイアウト	3.6	

13	みんなの国保	テーマ・内容	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・「納付相談」は、市民全体配布の広報紙で扱う内容であろうか。国保加入者以外の人が見たら怒るかもしれない。これは納付通知書に同封すれば済む話。市としては切実な問題であろうが、「どこか変だな」と感じる。必要で設けた国保コーナーが、ある種の慣れから常態化してピントが外れてしまっているのではないか。 ・年金受給者は年金からの天引きと聞いている。この辺の情報を市民に知らせる必要があるのではないか。 ・市は上から目線ではなく、“なぜ”の自問自答を繰り返して解決を見出すべき。企業であれば、売れない・生産があがらないなどの場合、知恵をしぼる技術があるが、それが欠けているのではないか。 ・問合せなど、もっと大きく記載されているほうがよい。 ・「まず相談！」が目についた。国保について理解してもらうための努力が感じられた。 ・内容的にどうしても読みにくいコーナーだが、今回は伝えたいことが赤字で目立ったので、伝わったのではないか。
		文章	3.4	
		写真・イラスト	3.3	
		レイアウト	3.4	
14	消費生活Q&A	テーマ・内容	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙で紹介する内容はもっと厳選して、「なるほど、そうか…」と喚起を促すような事例にしてほしい。 ・文中「お住まいの地域の担当窓口を確認」も不親切な記述。香芝市の担当窓口を特定・明示した方がよい。 ・ごみの問題や健康（消防だよりの熱中症）は、生活の中で大切なこと。今後もいろいろな問題を取り上げ、情報提供してほしい。 ・毎回身近なQ&Aでよいと思う。分かりやすかった。
		文章	3.7	
		写真・イラスト	3.3	
		レイアウト	3.6	
14	消防だより	テーマ・内容	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症は、もう少し早く7月号での掲載の方がよかったのではないかと思います。 ・香芝市内の救急車の月別出動回数・病気別出動回数などのデータを知りたい。香芝市には市民病院がないがどの病院への搬送が多いのか、土日ちょっとした頭痛で救急車を呼ぶような事例はないのかなども知りたい。 ・熱中症は、粘り強く注意喚起しなければならないと思う。”熱中症の65%以上が高齢者”という実態を大きく打ち出してもよかったのではないか。さらに、「クーラー風が嫌い、電気代がもったいない」という高齢者の風潮を変えることも大きな課題ではないか。 ・広報車などで注意を呼びかける”現動（行動）”も必要。 ・「こんなときは、迷わず救急車を」の言葉は、安心できる文字だった。 ・先日のニュースで、奈良県でこの夏初めての熱中症による死者が香芝市から出たと聞いたが、今回の内容は、それを受けての記事でしょうか。
		文章	3.4	
		写真・イラスト	3.3	
		レイアウト	3.6	

○そのほか、今月号の広報かしばの内容など

- 表紙は、奇抜で明るく、おもしろい題材と構図だった。
- 表紙がすごくインパクトがあった。
- もくじは見にくくかんじるので、下線はとり、小項目をひとマス下げて表示してはどうか。
- 香芝市節電効果は、タイムリーな報告だった。この実績がどういう対策で達成できたのかを掲載し、「市政トピックス」としてもよかったのではないか。
- 市民ペンリレーは、いつも楽しみにしている。
- 編集後記も簡潔にまとまっていた。
- 今昔アルバムを見ると、香芝の発展を感じる。「香芝ってこんなまちです！」と言えるように、広報を通じて若い世代にどんどんアピールして行ってほしい。
- 全体が見やすいとの評判もあり。

○広報紙以外の広報活動についてのご意見など

- コンビニに広報紙を置いているのを見かけたが、下の方に置かれホコリをかぶっていてとても残念だった。もっと目立つ位置に置かせてもらうことはできないか。
- 広報かしばとお知らせ版の2つに分かる必要はあるのか。1本化へ向けて検討できないのか。